

茨城の教育

2025年4月30日
第1197号
茨城県高等学校教職員組合

2025年度春の分会・専門部交流会を開催

2025年が始まりました。茨城県高等学校教職員組合では、4月13日、オンラインで分会・専門部交流会を開催しました。

給特法改正で給料減？

政府・文部科学省は働き方改革の一環として、給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）を改正しようとしています。現在、教育職員は、残業代がつかない代わりに4%の教職調整額が支給されています。昨年の夏には、2026年から4%を一気に13%にすること、学級担任手当を創設することなどが、盛り込まれ、教育職員の待遇が大きく改善すると期待されました。

しかし、教職調整額については、2026年から6年間かけて1%ずつ引き上げて、最終的に10%にすること、教諭に新しい職「主務教諭」を設けて、現行の5級制から6級制度とすること、義務教育教員特別手当を

削減すること、特別支援学校の教員には学級担任手当を支給せず、「給料の調整額」を削減することなど、一般教員の賃金が相対的に下げられる中身となっています。長時間過密労働は放置したまま、教員配置の改善はなく、みかけだけの給特法改悪の問題点と矛盾が明らかになりつつあります。今の国会では廃案に持ち込む取り組みが必要です。



4月から手当・休暇制度改正

4月から、昨年11月の茨城県当局と地公労（茨城県高等学校教職員組合、茨城県職員労働組合連合、茨城県教職員組合、自治労茨城県本部の4団体で組織）交渉の合意により、旅費・休暇制度が改正されました。

通勤手当の燃費基準の改定、雑費の改正がなされます。60キロ以上の通勤者の高速道

路の手当は半額から全額支給になります。

休暇制度では、家族看護休暇が孫まで対象が広がり、子の学校行事参加でも使えるようになりました。

しかし、この制度変更が伝えられている職場が少ないのが課題となっています。



人事関係

人事については、様々な課題があります。

- ① 年度当初から未配置
県南の特別支援学校では、年度当初に7名の教職員の欠員がある状態でスタートしたと報告されました。
- ② 臨時的任用職員の配置
臨時的任用職員の採用については、学校長の裁量とされていますが、県央の特別支援学校では、校長から臨時的任用職員に対して不当な雇い止めが告げられ、分会と障害児学校部、臨時教職員部で対応して雇用が継続できたことが報告されました。
- ③ 定年引上げ後の人事異動について
2023年度末は定年退職がなく役職定年のみでした。2024年度末は61歳を迎えた教職員が定年退職となりました。2025年度末は、定年退職はありません。高教組は、県教委に対して60

歳以降の人事異動ルールの見直しをする場合には、協議を求めてきましたが、いまだに協議は行われていません。高教組は、「60歳以降の教職員を含めグループ異動対象年齢上限（57歳未満）を適用すること」を要求しています。

部活動問題

多くの学校で、4月1日に部活動顧問が発表されることが慣例となっています。

県南の高校では、新任者は、副顧問にするという調整がなされている。県央の高校では、部活動顧問を兼任なしで4～6名つけることで、部活動指導の負担を減らすことをしているなどの報告がありました。

9月に県知事選挙！

茨城県の大井川知事、2期8年を勤め、9月に県知事選挙が予定されています。

大井川知事の高校教育政策でおこなわれた高校改革は大きく3つです。①中高一貫教育学校の新設・拡大（3校から13校）、②新しいタイプの学校への新設・改編（友部高校をIT未来高校、つくば工科高校をつくばサイエンス高校）、結城第一、石下紫峰高校の外国人特例の拡大、③太田一高定時制の募集停止、結城一高と鬼怒商高の学校連携型キャ

ンパス制、明野高校普通科（募集停止）と真壁高校普通科の機能統合です。

さらに民間人校長を、中高一貫校、IT未来高校、つくばサイエンス高校に導入してきました。

新しいタイプの学校の改編では、つくばサイエンスでは、科学技術科240名のうち、2年連続で定員の半数以下しか生徒が集まらず、6クラスのうち、3クラスを普通科に改編するという事態となりました。

特別支援学校では、過大過密が進んでいます。鹿行地区の鹿島特別支援学校の過大、過密を解消するため、神栖特別支援学校（仮称）を2027年度に開校させる計画になりました。教職員配置の課題もありますが、住民運動が県政を動かした成果ともいえます。

生徒に本当に必要とされている学校とはどんな学校なのか、既存の高校を統合するだけでいいのかなど、意見を出し合い、学校に通いやすい、楽しいと思える生徒を増やすこと、教職員が働きやすい学校づくりの政策が実現できる県知事が求められます。

お知らせ

5月1日（木）茨城県中央メーデー（水戸）
5月3日（土）憲法フェスティバル（水戸）
5月31日（土）
第100回茨高教組定期大会（土浦）

手軽に挑戦レシピ NO. 1

フライパンで卵焼き

材料

たまご3個、さとう大さじ2、サラダ油

作り方

- ① たまご3個、さとう大さじ2を、さいばしでよくかき混ぜる。
- ② フライパンを温め、サラダ油を全体にしく。
- ③ ①を全体にしき、かたまってきたら、フライ返しで半分に折り返す。
- ④ さらにかたまってきたら、フライ返しで裏返す。
- ⑤ 中も固まってきたら、皿に載せて、包丁で一口大に切る。



発行

茨城県高等学校教職員組合
水戸市平須町1-93

TEL 029-305-3075

FAX 029-305-3317

mail:iba-kou@ihfsfu.net

あなたも組合へ



<https://ihfsfu.net>